

総務委員会資料

1 所管事務の調査（視察）

(1) 新川崎・創造のもりについて

経済労働局

令和7年7月25日



新川崎・創造のもりについて

令和7年7月25日

川崎市経済労働局イノベーション推進部

新川崎・創造のもり

1

- 平成12(2000)年から段階整備
- 「慶應義塾大学K²タウンキャンパス」と「かわさき新産業創造センター」が立地
- かわさき新産業創造センター（KBIC本館、NANOBIIC、AIRBIC 2 階）は、計100室、8,100 m²のインキュベーションラボを備え、入居率約100%（スタートアップ等 約50者が入居）
- クラス100・10000のクリーンルーム
- アジア初のゲート型商用量子コンピューターが稼働

首都圏
最大級



第1期事業
K²タウンキャンパス (2000年～)



K² 慶應義塾大学の
20プロジェクトが入居

第2期事業
KBIC本館 (2003年～)



ものづくり工房付き
新産業支援施設

第3期事業
NANOBIIC (2012年～)



ナノ・マイクロ技術の
産学官共同研究施設

第3期事業第2段階事業
AIRBIC (2019年～)



官民連携整備の
オープンイノベーション拠点

量子コンピューターの設置・稼働
(2021年～)



アジア初の
量子コンピューター

IBM社の量子コンピューターがNANOBIICに設置、稼働
東大を代表に、JST「共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）」
に採択され、新川崎もサテライト拠点に位置付け

○産学連携や様々な成長支援の取組から、世界最先端の研究開発プロジェクトを推進するとともに、国内外から注目される研究開発型スタートアップを輩出

- 革新的な研究開発の成果と新たなビジネスモデルにより、大きく成長を遂げ、ベンチャーキャピタル(VC)からの資金調達額の増加に伴い従業員数も大幅に増加
- 令和5(2023)年度、令和6(2024)年度と、2年連続でKBIC入居企業が株式上場

慶應フォトンクス・リサーチ・インスティテュート

K²

プラスチック光ファイバー技術で開発した注射針より細い内視鏡

開発した内視鏡
(φ1.25mm)

従来品の3割の太さ

従来型

出典:エア・ウォーター(株)・慶應義塾大学KPRI提供

- 超高速通信を省電力かつリアルタイムに実現する世界初のエラーフリープラスチック光ファイバー技術を実現
- 高精細ディスプレイのためのフォトンクスポリマー材料を研究開発

株式会社イクシス

AIRBIC



出典:株式会社イクシスHP

- 建設現場やプラントなどのインフラにおいて、サイバー空間と現実空間をロボットやAI・AR・3D点群で双方向に連動するシステムを開発
- 現場のDX化を支援する技術をはじめ、ロボット×テクノロジーで社会課題の解決に挑む
- 従業員100名超に成長

株式会社Veritas In Silico

NANOBIK



出典:株式会社Veritas In Silico

- 低分子医薬品でmRNA上の部分構造を標的とする全く新しい概念の創薬システムを確立
- デジタル技術と創薬技術を統合したプラットフォームにより、製薬会社と連携した創薬事業を展開
- 令和6(2024)年2月、入居中企業で初めて東京証券取引所グロース市場に上場

Heartseed株式会社

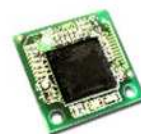
AIRBIC



出典:Heartseed株式会社HP

- 慶應義塾大学医学部発の心筋再生医療の実現化を目指して設立されたバイオベンチャー
- iPS細胞を用いた重症心不全の抜本的治療法を開発
- 令和6(2024)年7月、東京証券取引所グロース市場に上場

モーションリブ株式会社

K²


AbcCore

MOTION LIB

出典:モーションリブ株式会社HP

- 慶應義塾大学で誕生した力触覚制御技術「リアルハプティクス」を搭載したICチップ「AbcCore」の導入・開発支援、デバイス提供を行う
- 幅広い企業との共同研究により、技術の社会実装が進展

LQUOM株式会社

KBIC本館



LQUOM
Quantum Communication

出典:LQUOM株式会社HP

- 究極の安全性を持つ「量子インターネット」の実現に向けて、量子通信システム、量子中継器および関連技術の開発と製品化に取り組む、横浜国立大学発のスタートアップ
- 同社の通信技術は世界から注目を集め、創業者の新関和哉代表取締役は Forbes「世界を変える30歳未満の30人アジア 2023」に選出

新川崎・創造のもりの機能更新・量子イノベーションパーク推進の経過

3



アジア初のゲート型商用量子コンピューターが
新川崎に設置



国の大型研究プロジェクト
共創の場形成支援プログラム
COI-NEXTに採択



「新川崎・創造のもりの機能更
新に関する基本的な考え方」
策定

2021年

2022年

2024年

2022年

2023年

2025年

東京大学・日本IBMと連携
した高校生向け量子ネイティ
ブ人材育成事業を自治体と
して初めて開催



慶應義塾と「新川崎・創造の
もり地区の機能更新等に関
する協定」締結



「新川崎・創造のもりの機能
更新に向けたイノベーション
拠点整備基本計画」策定

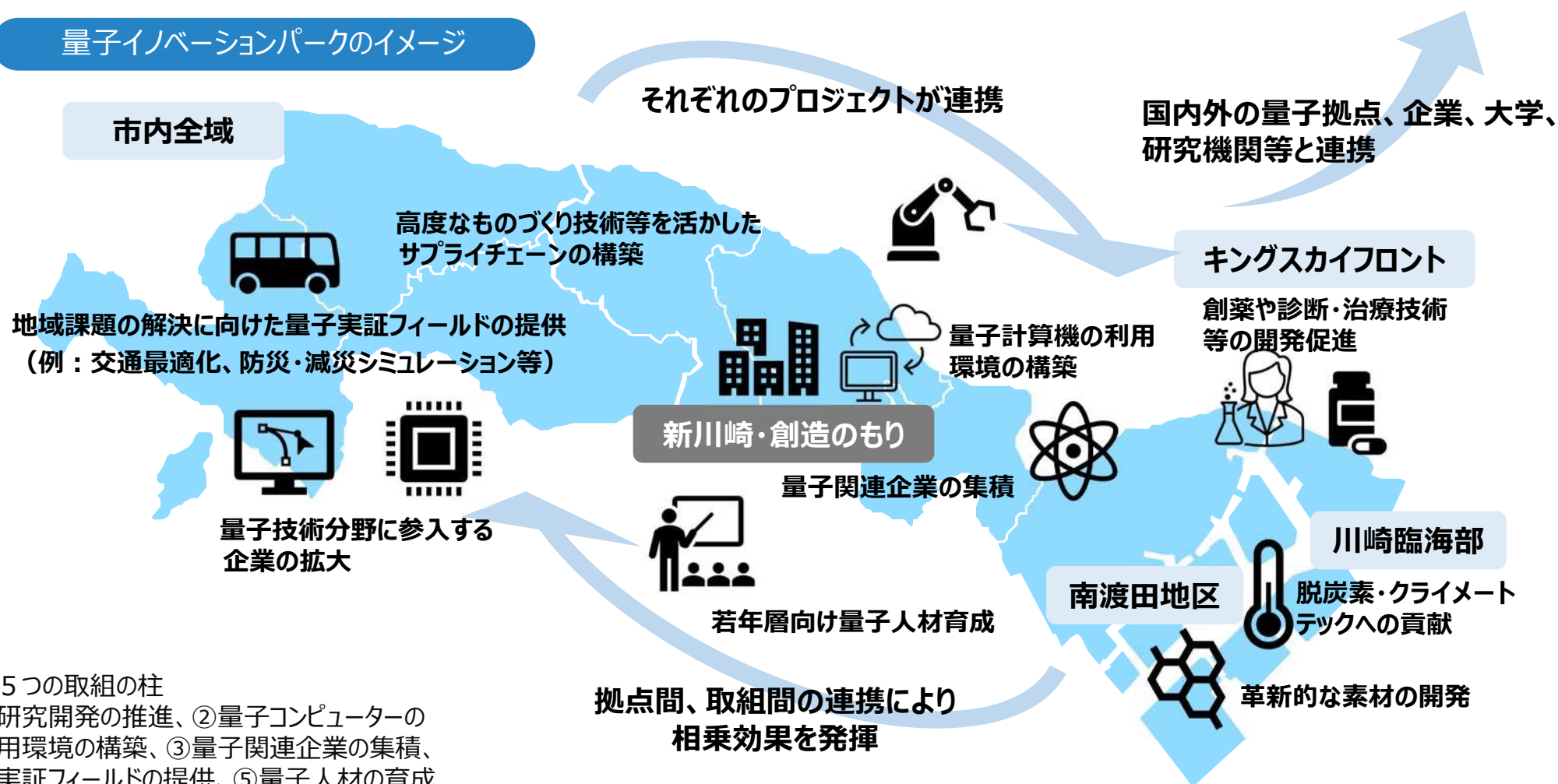


川崎市が目指す「量子イノベーションパーク」

【量子イノベーションパーク】

量子技術を核としたイノベーションの創出に向けた多様な研究・実証・教育プロジェクトが、新川崎・創造のもりを中核として、様々な企業・研究機関等において市内全域で展開される姿を言い、それぞれのプロジェクトが相互に連携、影響を及ぼしあうことで、世界の量子イノベーションを先導するエコシステムが形成されることを目指します。

量子イノベーションパークのイメージ



量子企業の集積

創造のもりにおいて、IBMの量子コンピューターの研究チームをはじめ、量子技術の研究開発を行うスタートアップ企業や大企業、国プロジェクトの採択を受けた大学等の集積が進む

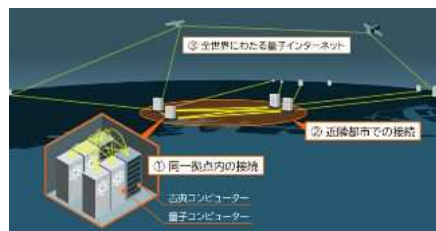
KBICに入居する量子企業・プロジェクト

<量子コンピューター>

- ・ 日本アイ・ビー・エム（株）
- ・ 慶應義塾大学（サステナブル量子・AI研究拠点）

<量子通信>

- ・ 三菱電機（株）
- ・ （株）LQUOM
- ・ 慶應義塾大学（量子インターネットタスクフォース）
- ・ 量子インターネット・イノベーション（株）（予定）



三菱電機、LQUOM、横国大等7者が共同で取り組む量子通信プロジェクト
出典：三菱電機、LQUOM、横国大

また、創造のもりの周辺においては、令和7年秋に、富士通が中原区Fujitsu Technology Park内に研究開発施設「量子棟」開設し、令和8年度には世界最大級1000量子ビット超の量子コンピューターを設置する予定



富士通量子棟 出典：富士通

量子人材育成の取組

本市では、他都市に先駆けて、多様なパートナーとともに、若者向けや産業界向けに、年間を通じた体系的な学びの機会の提供を目指した量子人材育成の取組を推進

主な若者向け量子人材育成プログラム

Kawasaki Quantum Summer Camp (R4～)

【主催】日本IBM、東京大学、川崎市

- 量子ネイティブ人材を川崎から輩出することを目指し、市内在住・在学の**高校生を対象**とする量子人材育成プログラム
- これまでに**約70名が参加、東大や慶應大学に進学し、量子研究に進む人材も複数輩出**
- また、過去の受講者がOB・OGサポーターとして参加し、メンバー同士の交流・繋がりを生むコミュニティも形成

量子プログラミング体験講座 (R6～)

【主催】NVIDIA、慶應義塾大学、川崎市

- **高校生、大学生を対象とした量子プログラミング体験講座**
- 量子プログラミング演習、生成AIについての講義、研究施設の見学等を半日で体験
- 初回は約20名が参加、今年度も8月に開催予定

今夏の開催予定

あなたのアイデアが
量子コンピューターの未来を創る

Kawasaki Quantum Summer Camp 2025

量子コンピューター基礎学習・プログラミング体験
量子ハードウェア技術の学習
量子コンピューターの実機見学

4日間
7/29 7/30 7/31 8/1
7/4 Fri.

東京大学・IBM Quantum
ハードウェアテストセンター
の実機見学ができます！

会場：①東京大学：7月29日
②かわさき新産業創造センターAIRBIC：7月30日、31日、8月1日

主催：川崎市、川崎市産業振興局、インノベーション推進部
共催：川崎市、川崎市産業振興局、インノベーション推進部
協賛：株式会社パナソニック、株式会社日立、株式会社日立システムズ、株式会社日立パワーソリューションズ、株式会社日立ハイテク、株式会社日立製作所、株式会社日立システムズ、株式会社日立パワーソリューションズ、株式会社日立ハイテク、株式会社日立製作所

Kawasaki Quantum Summer Camp

開催日程：令和7年7月29日～8月1日までの4日間

開催場所：東京大学、新川崎・創造のもり

対象：市内在住・在学の高校生等



量子プログラミング体験講座

開催日程：令和7年8月22日（金）

開催場所：新川崎・創造のもり

対象：市内在住・在学の高校生・大学生等

SQAT NVIDIA 川崎市 産業振興局

NVIDIA 産業界から学ぶ、未来をつくる 量子・AI の世界

量子プログラミング体験講座

8.22(金)
13:00-18:00

受講対象者
高校生・大学生（高専生、専門学校生等含む）
※参加費は無料です。受講希望の方は申し込みが必要です。

会場
かわさき新産業創造センター AIRBIC

内容
・量子プログラミング体験
・生成AIについて
・研究開発の現場
・NVIDIA 最新技術の紹介

応募締切
2025年7月31日（木）

主催
COC（NEXT）システム量子AI研究拠点（CQAD）新川崎サテライト
NVIDIA、産業振興局、川崎市

問合せ先
川崎市産業振興局・インノベーション推進部
TEL 044-330-3377 e-mail: info@innovation.kawasaki.jp

量子技術の活用実証事業

自治体初の取組として、量子コンピューターを使った地域課題、行政課題の解決に向けた実証モデル事業を実施し、市内における量子技術の活用事例を創出し、市内企業の量子技術分野への参画促進や、市民の量子技術への理解促進と興味・関心、期待感を醸成を図る

量子実証 川崎モデル創出事業（R7～）



- 公募期間 令和7年7月2日～ 8月5日
- 採択件数 2 件程度
- 実証期間 令和7年9月～令和8年2月（約半年間）
- 経費支援 1 件あたり 上限 300万円（税込）
- 課題テーマの例：
市内のデマンド交通におけるエリア・停留所等の最適化
市内の屋内スポーツ施設における特別承認制度の予約調整

ものづくり基盤技術を活かしたサプライチェーン

市内には量子コンピューターを構成する部材の開発・製造を担う高度なものづくり技術を有する中小企業が複数社あり、本市の優れた中小ものづくり企業の集積を活かせる分野であることから、装置・部品・材料等の安定的なサプライチェーンの構築に向けた市内中小企業の参画を促進、支援

＜量子コンピューターの部材製造技術を有する市内企業＞

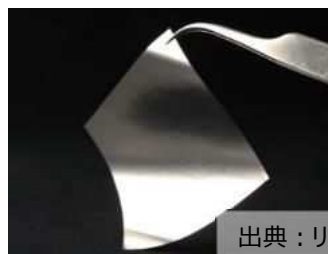
- （株）川島製作所 多摩区（高周波同軸コネクタ）
- （株）オータマ 多摩区（磁気シールド）
- リカザイ（株） 中原区（配線材用金属薄膜）
- （株）ヒラミヤ 高津区（モックアップ） 等



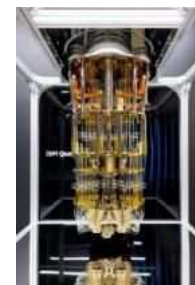
出典：川島製作所



出典：オータマHP



出典：リカザイHP



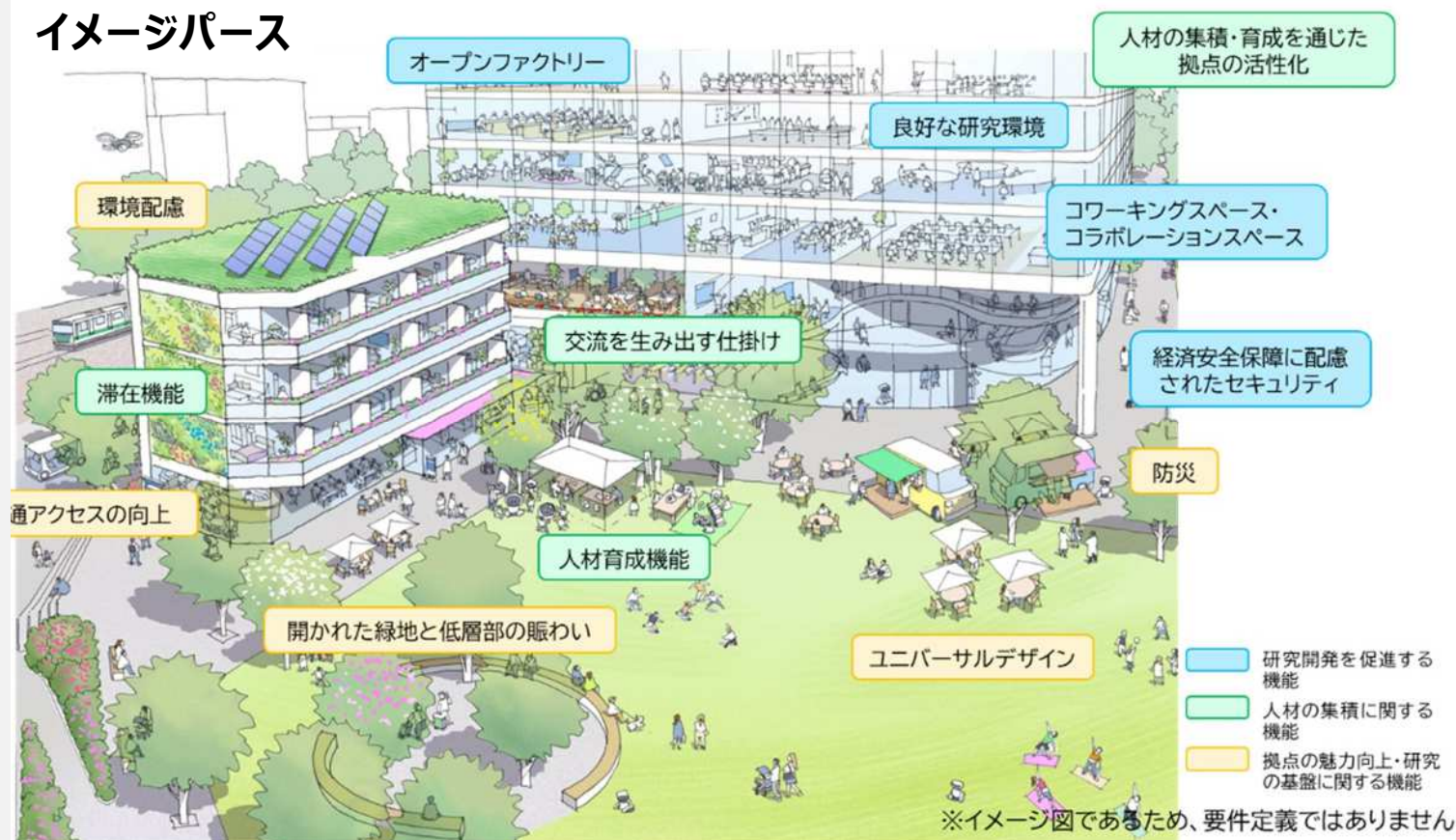
出典：日本IBM

- 量子イノベーションパークの中核として、次の100年を**見据えた量子、AI、半導体等の最先端コンピューティング技術の「知」と「人材」が集積する新たな拠点形成**に取り組みます。
- K²タウンキャンパスの既存施設を解体し、K²タウンキャンパスの敷地を対象に新たな施設の整備を行うことで、機能更新の効果の最大化を図り、**高度人材が集積するイノベーション拠点の形成**や、地域に開かれた憩いの空間の形成等の実現を目指します。

導入機能

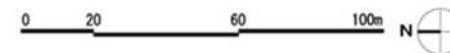
- ✓ **研究開発を加速する良好な研究環境機能**
- ✓ コワーキングスペース・多目的コラボレーションスペース
- ✓ 先端デジタル工作機器を備えたオープンファクトリー
- ✓ 経済安全保障・セキュリティ・安心安全への配慮
- ✓ 国内外から優れた人材を誘引する滞在機能
- ✓ **子どもたちの科学技術への夢を育み**、多世代の人材を育成する機能
- ✓ **カフェやレストラン等を備えた地域に開かれた憩いの空間等**

イメージパース



新川崎・創造のものの機能更新（配置イメージ）

JR新川崎駅



富士通

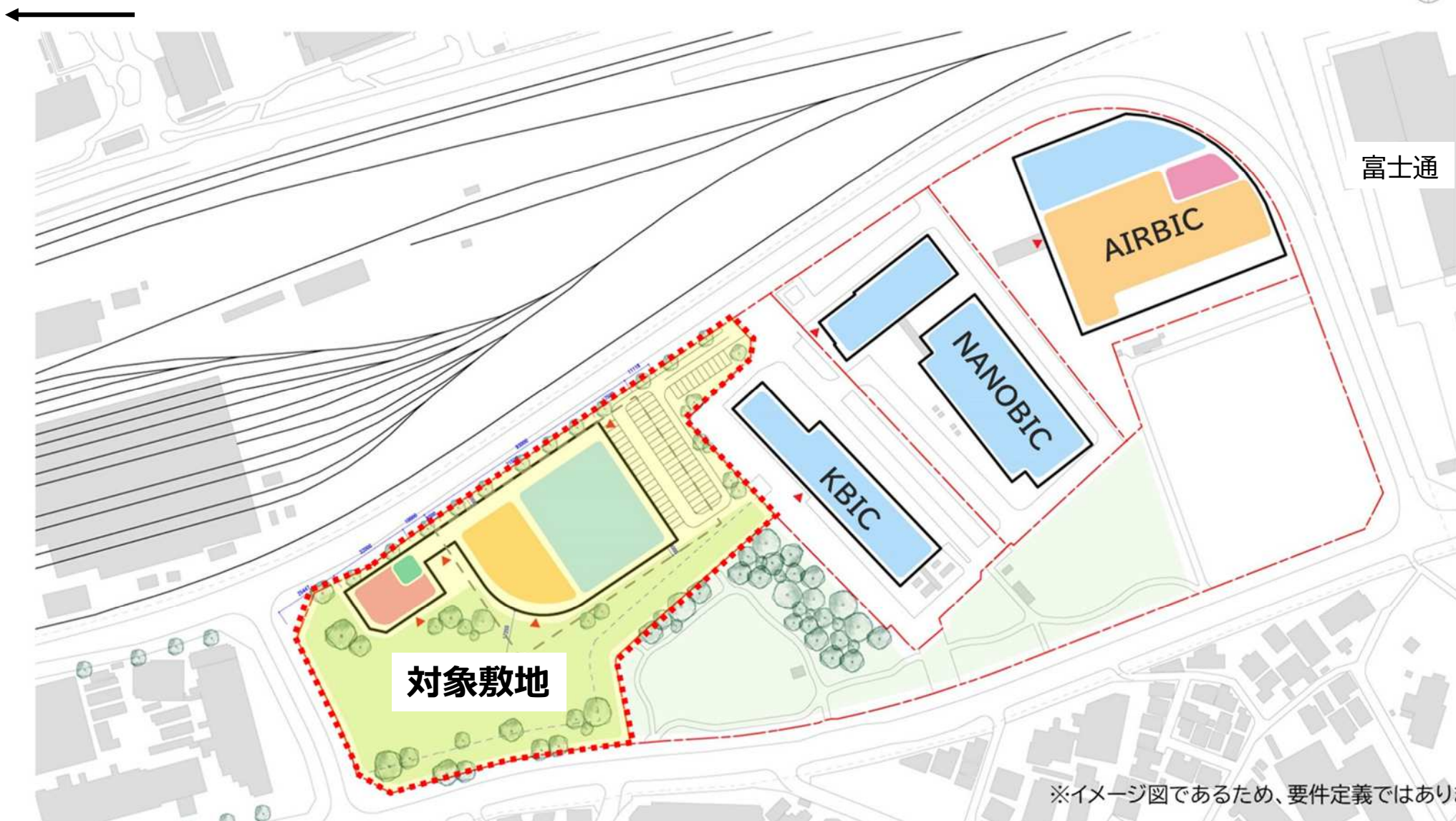
AIRBIC

NANOBIIC

KBIC

対象敷地

※イメージ図であるため、要件定義ではありません



イメージプラン での施設規模

- 延床面積：約49,000㎡（容積率 約300%）
- 建築面積：約6,400㎡（建ぺい率 約33%）
- 建物高さ：約44.5m（ラボ棟：約44.5m／商業・住宅棟：約19m）

※イメージプランであるため、要件定義ではありません

【施設構成・建物ボリュームの考え方】

- 北側の集合住宅に配慮し、北側の高さを抑え、敷地北側には広場空間を配置
- ラボ棟は地区計画が定める最高高さ45m近くまでボリュームを確保



面積表（概算）

機能	面積
ラボ（コワーキング・オープンファクトリー等を含む）	約37,000～40,000㎡
アメニティ機能（例：交流ラウンジ、フィットネス、教育関連機能、保育園、クリニック等）	約4,000～5,000㎡
会議室	約1,200㎡
滞在機能	約2,000～5,000㎡
商業	約600㎡
合計	約49,000㎡

今後の詳細な事業性の検討により、各機能の面積は増減する見込み

6-2 配置・平面構成

- 公園側の環境に配慮し、建物は線路側に寄せて配置
- エリア全体の回遊性の向上に向け、新川崎駅～各施設～公園への動線に配慮



イメージ図であるため、要件定義ではありません

- 令和7(2025)年度に事業者選定を行います。
- 令和7(2025)年度からK²タウンキャンパスの研究プロジェクトの移転調整を進め、令和9(2027)年度から既存施設の解体・建築工事に着手する予定です。
- 工事期間については約2年半かかることが想定され、令和11(2029)年度の工事完成、供用開始を目指しています。

想定スケジュール

